

総合評価結果報告書

施設の名称	静岡市大川高齢者生活福祉センター		
課名	高齢者福祉課		
指定管理者名	社会福祉法人 駿河会		
指定期間	平成30年4月1日 ～ 令和5年3月31日		
評価委員会 開催年月日	令和4年6月6日（月）		
評価委員 ※（ ）内は職名 等を記載してく ださい。	①委員長 大畑 綾子（高齢者福祉課長） ②委員 内田 全城（常葉大学 健康科学部 静岡理学療法学科 准教授） ③ " 伊藤 富代子（葵区民生委員・児童委員協議会 副会長） ④ " 平林 則彦（介護保険課長） ⑤ " 繁田 昌宏（地域包括ケア推進本部次長）		
評価点 (各委員平均点)	91.6点	評価	A・B・C・D・E
評価結果詳細	別紙「総合評価結果総括表」のとおり		
総合評価結果を踏 まえての施設所管 課としての意見	<p>利用者からの相談に真摯に向き合い速やかに対応したり、備品の日常的な点検体制を整えたりと、利用者への配慮が感じられる。</p> <p>また、品質目標管理票を毎年作成し、福祉サービスの質を継続的に向上させる取り組みを行っており、PDCAサイクルが確立されている。サービス提供について、職員の意識の高さを感じる。</p> <p>特に、地区自治会会議へ毎月出席する等により積極的に地域のニーズをくみ取り、課題解決に努め、地域における高齢者支援拠点として事業運営をしているところが高く評価できる。</p> <p>長い間利用のなかった生活支援型居室について利用再開にこぎつけたのは非常に大きな功績である。日頃から利用者の声に耳を傾け課題を把握しつつ、高齢者生活福祉センターとして支援できる方法を利用者家族等と模索した結果が表れた。</p> <p>今後の事業運営について、大いに期待できる。</p>		

総合評価結果総括表

施設の名 称 [静岡市大川高齢者生活福祉センター] 課名 [高齢者福祉課]
 指定管理者名 [社会福祉法人 駿河会]

	A 評価 委員	B 評価 委員	C 評価 委員	D 評価 委員	E 評価 委員	平均 点
1 履行状況の確認 【配点50点】						
(ア) 事業の円滑な実施 (15点)	12	12	12	10	12	11.6
(イ) 適正な人員配置 (10点)	8	10	10	10	10	9.6
(ウ) 安心・安全を最優先した施設の維持管理 (15点)	15	15	15	12	12	13.8
(エ) 庶務事務 (10点)	10	8	10	8	8	8.8
小 計	45	45	47	40	42	43.8
2 指定管理者の創意工夫 【配点15点】						
(ア) 指定管理者による事業の提案と実施 (10点)	9	10	10	7	8	8.8
(イ) 福祉サービスの実施 (5点)	5	5	4	4	4	4.4
小 計	14	15	14	11	12	13.2
3 市民（利用者）のサービスの向上 【配点15点】						
(ア) 利用者の満足度調査が実施されている。(5点)	5	5	5	5	5	5
(イ) 利用者満足の向上に努めている。(5点)	5	5	5	5	5	5
(ウ) 利用者等からの要望、苦情への対応がされている。(5点)	5	5	5	3	5	4.6
小 計	15	15	15	13	15	14.6
4 施設固有の評価項目 【配点20点】						
(ア) 介護保険サービス事業 (5点)	5	5	5	5	5	5
(イ) 居住機能事業 (5点)	5	5	5	5	5	5
(ウ) 地域交流事業 (5点)	5	5	5	5	5	5
(エ) 事業の周知等、利用者増へ向けた取り組み (5点)	5	5	5	5	5	5
小 計	20	20	20	20	20	20
合 計	94	95	96	84	89	91.6

※ 評価委員名は記載しない

※ 平均点は、小数点以下第2位を四捨五入する。

各評価委員の所見のまとめ（※各評価委員の所見をそのまま記載してください。）

【A評価委員】

家族等からの相談に対し真摯に向き合い速やかに対応している様子が相談票から伺うことができた。備品・設備について日常的な点検体制が整えられ、利用者への配慮が感じられる。

何事も職員間で情報を共有し利用者に寄り添う姿勢が、ヒヤリハットはあっても事故は1件もない結果につながっているのだと思いました。

居住機能の使い方の発想は、これまでにない新しいアプローチかと思います。今後も地域住民に寄り添い、ニーズの把握に努め、ますます頼れる拠点施設として力を発揮してください。

【B評価委員】

管理プロセスが明確であり、良好に実施されている。

個人情報保護法改定に沿った規定の見直しに検討の余地あり。

【C評価委員】

利用者からの相談対応が速やかに行われているところは良いと思う。(相談者の安心につながる)

少人数のこども園、小中学校との交流は今後も大事にして欲しい。

満足度調査について、自由記載の内容をくみ取り要望にこたえるよう今後も努力してほしい。

山間部にあり人口減少の中、事業の展開が難しいところがあると思われる。地域の高齢者のためにがんばってください。

【D評価委員】

地域に根ざした活動を行っている事が評価できる。

コロナ禍において交流事業が中止となっているが、感染予防対策等を行い、交流事業の再開を期待する。

【E評価委員】

生活相談員、看護師はプラスアルファの配置をしている。

職員研修後に力量チェックを行うなど、効果把握に努めている。

全般的にサービスの向上や地域への貢献に努力していることがうかがえる。

評価委員会としての意見

利用者への対応が良い。相談に真摯に向き合い速やかに対応したり、備品の日常的な点検体制を整えたりと、利用者への配慮が感じられる。

品質目標管理票を毎年作成し、福祉サービスの質を継続的に向上させる取り組みを行っており、PDCAサイクルが確立されている。

コロナ禍において交流事業が中止となっているため、感染予防対策等を行い、再開してほしい。

地区自治会会議へ毎月出席する等により積極的に地域のニーズをくみ取っている。

地域における高齢者支援拠点として、サービスの向上や地域への貢献に努力し事業運営をしているところが高く評価できる。